

# 家庭教育通信

「家庭教育通信」は子ども達のすこやかな成長を願い、よりよい家庭教育について皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

VOI. 6



心配してるのに～

発行：白井市教育委員会

監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 裕子

お問い合わせ：白井市教育委員会 教育部 生涯学習課

TEL 047(492)1111

## ～どうして、親の心配が通じないのでしょうか～

翔太「ただいまー、さむい、サムーイ」と翔太君はストーブの前に座りこみます。

ママ「おかえりなさい。コートを脱いで、手を洗って、うがいをしていっちゃい」

とママは夕飯のしたくをしながら声をかけます。お鍋の火加減を調節してふと見ると、翔太君は妹の静香ちゃんが見ているテレビに見とれています。

ママ「翔太！早くしなさい！」

翔太「わかってる！」

ママ「分かっているなら、すぐにやりなさい。昨日も同じことを言いながら夕飯まで何もしなかったじゃない。風邪をひいたらどうするの！ママ知らないわよ。苦しいのは、あなたなんですからね」と、語気が強くなりました。

沸騰するお鍋のふたを取りながら、ママはフッと気が付きました。

『今の言い方は、あなたメッセージ。私がイライラしていることは、翔太に伝わっているけれど、うがいや手洗いをしないのを私が嫌だと思っている理由は何も言っていない。こういう時は、わたしメッセージで理由を言えば、翔太に分かりやすいかもしれない』

そこで、

ママ「ねえ、翔太。帰ってきたらうがいや手洗いをしないと、あなたがインフルエンザにかかるんじゃないかとママは心配なんだ。」と話してみました。

翔太「だって、寒いから動くのイヤなんだもん」

ママは、「はい」という返事を期待していたのですが、翔太は言うことを聞きません。

そこで

ママ「ママは、あなたのことが心配なの。インフルエンザにかからないかと。あなただけじゃなくて、静香にもうつるかもしれないでしょ。風邪だったらまだしも、インフルエンザにかかったら、ママ嫌だよ。」

翔太「わかったよ。洗えばいいんでしょ」

と反抗的な言い方です。様子をうかがっていると、手は、水をかけただけ。うがいは。グチュと一回だけです。



